

〔瀏河鎮（リウ・ホウ・チエン）〕

この鎮は黄
山の西北

陸路六十九支里（約十二里）の地點にあつて、揚
子江口に近く、遙かに崇明縣と相對してゐる。瀏
河口より約十三支里（約二里）の上流に位する。

瀏河は幅二十間、水深一間乃至一間半あり、水量
豊富で流れは緩く、極めて良好なる河道をなし、
瀏河から河口までの十三支里の間には相當大きな
民船が各處に碇泊してゐる。陸路の便は糧店鎮と
南碼頭、太倉（乗合自動車を通じてゐる）。

市街は瀏河の兩岸に跨がり、東西に長く、街路
は一般に狭く、僅かに車が通り得るのみである。

今ではこの地は戸數約一千、人口五千内外であ
るが、昔この地は上海の蘇州河が黃浦江より大き
かつた當時、江南貿易の一中心地で、上海よりも
遙かに繁盛な土地であつたが、その後瀏河口が土
砂のため埋つたので、上海にその繁榮を奪はれた

のである。現在では附近一帯が沃野であるため、
棉花、高粱、大豆の産出が極めて豊富である。

〔太倉（タイ・ツァン）〕

は太倉縣の縣城
で、崑山の東方

水路三十五支里（約六里）小蒸汽船によれば三時
間餘で到達する。また河流により瀏河との交通の
便もある。また嘉定方面及び常熟へも乗合自動車
が通じてゐるのである。この地は元の時代、海運
の便を圖るためにここに倉庫を設けたので、太倉
と呼ばれるやうになつたのである。

人口は一萬數千、城内は頗る廣く、人家も稠密
である。繁華な市街を大街といひ、大商店、茶館
が多い。殊に小茶館の盛大なことは附近にその比
を見ずといはれてゐる。街路は石畳で、その幅は
一間乃至二間であるが、處々に廣庭があり、その
附近には必ず茶館があつて、晴天の日などには卓
子を置き、一般商人の喫茶及び商談するものが多

い。

太倉はその北方一帯の諸地方とともに棉の産地として聞え、附近一帯の棉畑は四十萬畝以上に達してゐる。棉の品質は常熟棉よりは稍々劣つてゐるが、纖維細長く、光澤もよく、蘇州、無錫、上海その他各地へ送り出される棉花は毎年五、六十萬担に達してゐるが、今後も棉産地として益々發展するであらう。

さてこの地の戦闘は、敵がもろくも潰走したので、流血の激戦は見なかつたが、太倉城入城は劇的な場面であつた。今、同地攻撃から入城までの模様を傳へて置かう。

〔太倉入城〕この地は、嘉定縣城の南側を掠めて潰走する敵を猛撃中の淺間、安達の兩部隊が十二月十三日正午頃、太倉縣城東南方三里、外圍鎮を占領した後、進撃した所である。

太倉に到着した淺間、安達兩部隊は、聞奏を容

二四

れずこの地を攻撃して、十四日午後五時半あへなく落城したのである。太倉を攻略した兩部隊は息つく暇もなく北進して、同日夕刻には沙溪鎮を抜き、翌十五日夕刻には支塘鎮を、十六日には楊李鎮を奪取し、常熟北方の敵陣に一大壓迫を加へるの態勢を占むるに至つたのである。

かくして太倉は十四日拂曉淺間、安達の兩部隊によつて陥落したが、この朝太倉城は霧に包まれて沼のやうな沈黙の底に沈んでゐた。その無氣味な空気を破つて、南方より攻撃中の和知部隊が死の孤城と化した太倉に堂々入城したのであつた。そこには敵の一兵も、住民の一人も姿なく、一發の銃聲も起らなかつた。兵隊さん達は追撃に次ぐに追撃、勢ひ込んで雪崩れ込めば、そこが太倉城だつたのだ。赤い太陽が森の中に浮んで木々の梢は黄金色に輝き、南城門高く大日章旗は翻つたのである。あゝこの日章旗こそ過ぐる日江橋鎮占領

1146

の殊勳に對し、感狀に添へて松井最高指揮官から贈られた晴の日章旗をつたのである。

こゝで常熟、江陰の地理を述べ、次なる崑山攻撃に移らう。

〔常熟(チャン・シュ)〕

この地は常熟縣の縣城で、蘇州の北方九十支里(約十五里)に位し、崑山より水路六十五支里、太倉へは四十四哩である。四方に運河及び河流が通じ、水利は非常に便である。蘇州及び崑山へは小汽船により半日で到着し、旅客は専らこれによるが、貨物は民船で運搬されてゐる。陸路の便は浙太汽車路の乗合自動車以太倉へ、蘇常汽車路が蘇州へ、吳淞汽車路が江陰へ通じてゐる。

人口は七、八千、城内は非常に廣いが、市街は城内の西南部に在り、東方には玉風山といふ小山を控へてゐる。市街の南を流れる河は崑山へ通ず

る河に合流してゐる。最も繁華な市街は城内西門街である。

常熟は常熟縣によつてその名を知られてゐるが、常熟縣の産地は常熟、昭文兩縣下で、常熟の

東方一帯及び江陰縣附近の一帯である。常熟縣は地勢一般に高燥で地味肥え、稻作に適してゐる

が、昭文縣は土地が低く、田舎も多くて稻作に適しないため、總面積の八割までは棉畑である。常熟棉は品質極めて良好で、その大半は蘇州、無錫

上海等へ輸出され、市内には多數の花行がある。常熟米も品質良好で、上海市場でも著名である。

棉、米の産地だけに、客商の往來頻繁を極め、旅館とともに小汽船會社が發展し、各方面への航行に従事する多數の汽船會社がある。

氣候は概して良好で、夏には雨多く、市街は比較的清潔なため、悪疫の流行することも稀である。今後とも米と棉の産地として益々繁盛に赴く